

造形通信

2026. 9月
NO.71
ひいらぎこども園

楽しかったプールも終了し、少しずつ夏が終わりに近づいてきています。しかし、暑さだけはまだまだ静まりそうにはありません。台風が来るかと思えば、猛暑のぶり返し、まだまだ秋は遠い所にいるようです。暑さもおりお部屋での活動が増えている子どもたちではありますが、いろんな素材に触れ、楽しさいっぱいの子どもたちです。



お風呂みたい！

カラービニル袋からいろんな活動が生まれます。中に入って遊ぶ。袖を少し切るだけで素敵なドレスに変身。中に空気が入ると、上に乗ったり、ポンポンと飛ばしたり。予め用意していたつなぎ合わせた大きなビニル袋を見せると、上に乗ったり、寝転んだり。ビニルを手で動かして「海だ！」と言って喜ぶ子。大きなビニルシートを天井からぶら下げると、ふわふわするシートを優しく触る子。1枚のビニル袋から子どもたちのたくさんの遊びが生まれていきました。こんな遊びもできるかなと見通しを持ちながらも、子どもたちの声を大切にしたいすみれ組の活動です。

触れて、感じて

遊ぶ

遊ぶ

遊ぶ



気持ちいい！

さわりたい！

素材を感じて、素材を楽しむ



お鍋に 1Lの水と片栗粉大匙 5杯を入れて沸騰させ、食紅を入れて、冷やしておきます。するとドロドロとしたスライム状のものができあがります。はじめは袋に入れて触ってみます。ムニムニ感にちょっと驚き、ボールに入れ直すと、ボールに手を突っ込んで触っていきます。床に直接置いておくと、座り込んで大胆に触り出す子が出てきました。実際に自分の手で触ってみて、その感触を楽しみながら手や足を広げ、どんどん塗り広げていきました。ぬるっとした何とも言えない感触がおもしろいのでしょうか。手や足、体全体で感じ取るたんぽぽ組の子どもたち。じっくり見つめるといろんな発見がありそうです。

豆知識：片栗粉は透明度が高く、発色がとてもいい。ホワイトのシートを使ったのも効果的！

新聞紙を思い切り破り始めました。遊びの途中に「水も使っていいよ。」と洗面器を差し出すと水の中に新聞紙をちぎって入れる遊びが大人気！濡れた新聞紙の感触を楽しむ子どもたちが多くなってきたので、バケツも出しました。すると、次は友達と力を合わせて新聞紙をグューグューバケツに詰め込み始めました。すると今度は、それをひっくり返してトントン叩き、バケツを持ち上げます。すると、バケツと同じ形の大きなかたまりが出てきました。「ケーキや！ケーキや！」と子どもたちは大喜び！水だらけになったけれど、子どもたちの歓声があふれたすみれ組のお部屋でした。

ケーキができた！

